

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第4回）（公開）

日時：平成28年2月10日（水） 14：02～15：02

議事概要：

（1）硫酸セフキノム\*を有効成分とする牛及び豚の注射剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

・ 審議の結果、

- 評価対象動物用医薬品である硫酸セフキノム製剤が、牛及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、牛及び豚由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、総合的にリスクを評価した結果、リスクの程度は中等度であると考えた。
  
- なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的に十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含む新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

\* セファロスポリン系抗生物質で、牛及び豚の肺炎の治療に用いられます。